

留学生の研究発表会：2016年7月22日・29日（金曜日4時限）

今年度開講した留学生のための科目『日本語日本文化研究』では、日本語日本文化研修留学生、交換留学生、大学院研究生が、言葉と文化について研究を行ってきました。その研究成果の発表を今回2回にわたり行いました。学生たちが選んだ研究テーマは、次の通りです。

語学関連：

「バリ語と日本語の敬語の使い分けと言葉の比較」、「SLにおける漢字圏学習者と非漢字圏学習者の文の意味処理過程の比較研究—日本語文読解プロセスの比較をとおして—」、「日本語の挨拶語の使い方」、「外来語に敬語の「お・ご」が付く理由」、「京都の舞子・芸妓に関する京言葉における敬語の使用とその歴史的原因」

比較文化関連：

「日本の過去と韓国の未来」、「日中奨学金制度に関する比較研究」、「Curtin・和歌山大学の物理教育の比較」、「中国における書道教育を考える—中日の書道教育の比較から—」、「中国と日本の飲食文化の比較」、「日本とベトナムの食文化の特徴の比較」

日本の伝統・現代文化関連：

「外国語につながる児童生徒の暮らし～A君の事例から～」、「弓道の面白さ、和歌山大学弓道部の体験」、「日本人の生活での菊の花」、「ニートの末路」
「江戸時代の大坂と江戸の共存」、「着物は消滅しつつあるか」「自立できない若者」、「日本アニメに隠されている価値観」、「日本アニメに隠されている価値観」、「ヤンキーの世界」、「日本のネコ文化」

それぞれユニークなテーマで内容も興味深いものでした。学生たちは、パワーポイントを使い、テーマにあわせて着物を着たり、弓道着を着たりと、ビジュアルにわかりやすく発表しました。

発表会には、留学生がお世話になっている日本人の方々や、学生、教職員が参加くださいました。

